

船舶事故調査報告書

平成25年3月7日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成24年6月13日 02時00分ごろ
発生場所	愛媛県松山市中島西岸付近 松山市所在のクダコ島灯台から真方位106° 1,800m付近 (概位 北緯33° 57.9' 東経132° 35.0')
事故調査の経過	平成24年6月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 引船 まさふじ、19トン 157-109 広島、内海船舶有限会社 25.75m×5.40m×2.88m、鋼 ディーゼル機関、735kW、平成20年10月30日 B 台船 ^{ほうじゆ} 宝珠、約1,525トン なし、富士海事工業株式会社 60.00m×24.00m×3.00m、鋼 機関なし、平成20年5月建造
乗組員等に関する情報	A 甲板員 男性 51歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成20年6月6日 免許証交付日 平成20年6月6日 (平成25年6月5日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	A 左舷船尾部凹損及び船底全般に擦過傷 B なし
事故の経過	A船は、船長、甲板員ほか1人が乗り組み、船首約1.0m、船尾約2.8mの喫水で、船体ブロック2個を積載して船首尾共に約1.0mの喫水となった無人のB船を長さ約50mのえい航索で引き、A船引船列を構成し、伊予灘を東進していた。 甲板員は、平成24年6月12日23時00分ごろ単独で船橋当直に就き、松山市津和地島南方沖で自動操舵で針路を中島西岸の部屋ノ鼻南方付近に向ける071°（真方位、以下同じ。）に定め、約7.5ノット(kn)の対地速力で航行した。

	<p>甲板員は、眠気を自覚していなかったが、天候が穏やかであり、付近を航行する船舶も少なく、入直前の睡眠時間が通常よりも短かったので、立った姿勢で当直を続けるうち、居眠りに陥った。</p> <p>A船引船列は、左方に圧流されながら中島西岸に向けて航行を続け、翌13日02時00分ごろクダコ島灯台から106° 1,800m付近の同島西岸の捨石にA船が乗り揚げた。</p> <p>甲板員は、乗り揚げた衝撃で目が覚め、A船が停止しており、前方に島影が見えたので乗り揚げたことに気付いた。</p> <p>船長は、自室で就寝中に衝撃で目が覚め、昇橋して状況を確認し、自力離礁を断念して会社に事故の発生を連絡した。</p> <p>A船引船列は、来援した僚船にB船のえい航を委ね、A船はタグボートにより引き降ろされて離礁し、松山市松山港へ入港した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期、潮流 北東流約1kn、潮高 約210cm、小潮</p>
その他の事項	<p>A船に居眠り防止装置はなかった。</p> <p>甲板員は、入直前の睡眠時間が通常約6時間程度であったが、本事故当時は寝つきが悪く、約3時間であった。</p> <p>甲板員は、ふだん、船橋当直中に眠気を感じたときは船長に知らせるように指示を受けており、本事故以前に眠気を感じた際、船長に報告した上で船橋当直を交替したことがあった。</p> <p>船長は、甲板員が瀬戸内海の航行経験が豊富であることを知っていたので、クダコ水道での操船を任せていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船引船列は、中島西方沖を自動操舵により東北東進中、単独で船橋当直中の甲板員が居眠りに陥ったことから、中島西岸に向けて航行し、A船が同島西岸の捨石に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>甲板員は、天候が穏やかであり、付近を航行する船舶も少なかったことから、気が緩み、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p> <p>甲板員は、入直前の睡眠時間が通常よりも短かったことから、睡眠不足であった可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、A船引船列が、中島西方沖を自動操舵により東北東進中、単独で船橋当直中の甲板員が居眠りに陥ったため、中島西岸に向けて航行し、A船が同島西岸の捨石に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p>

	・睡眠不足にならないよう、十分な睡眠をとること。
--	--------------------------